

東北大学大学院歯学研究科 インターフェイス口腔健康科学 第97回学術フォーラム

Forum for Interface Oral Health Science

知っておかないと損！ 歯科診療におけるCT活用法

— インプラントからエンドまで、
大学発ベンチャーの補綴出身者が診ようとしているもの —

そ ごう
十河 基文 先生

大阪大学歯学部招聘教員
株式会社アイキャット代表取締役CTO



平成28年9月27日（火）18:00～19:30
歯学研究科大会議室（C棟 1階）

大学を卒業して約20年弱。主に補綴科に在籍してきましたが卒業5～6年目に魅せられたのがCT。卒後15年目、「国民に信頼されるインプラント治療をCTデータから目指したい。」そんな気持ちで小泉内閣の国策に乗る形で大学発ベンチャーのiCATを起業。今では結構CTに詳しくなってきました。放射線の専門家ではありませんが「インプラント治療」や「一般歯科診療」において、CTから何が診えてくるのかを限られた時間の中で濃厚にお話したいと思います。



Q: 少し黒い顎骨。このパノラマから何か注意すべきことが見えてくるでしょうか？



Q: 主訴は右上6番の違和感。骨吸収は7番。「6番は問題なし」と考えてもよいでしょうか？

答えは講演の中で…

連絡先: 第97回モデレーター

江草 宏 ・ 新部 邦透（分子・再生歯科補綴学分野）